

(5): 672, 1980.

◆ 学会報告

1) 大門良男, 松田正毅, 高橋 薫, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一: ストレプトコッカスの生化学的性状 (API Strep による同定について), 第19回中部臨床衛生検査学会, 1980. 9, 金沢.

2) 山岸高由, 坂本憲市, 島田多佳志, 久保義博, 小西健一: 慢性胆嚢炎患者のB胆汁より分離された海水ビブリオの1菌株について, 第17回日本細菌学会中部支部総会, 1980. 11, 名古屋.

3) 刑部陽宅, 久保義博, 児玉博英, 坂本憲市, 山岸高由, 小西健一, 大門良男, 松田正毅: ウェルシュ菌による食中毒事例と分離菌株の性状, 第17回日本細菌学会中部支部総会, 1980. 11, 名古屋.

4) 坂本憲市, 山岸高由, 小西健一, 羽田陸朗: モルモットに経口投与された *Clostridium perfringens* の腸管内消長について, 第17回日本細菌学会中部支部総会, 1980. 11, 名古屋.

ウ イ ル ス 学

教 授 庭 山 清八郎
助 教 授 落 合 宏
助 手 林 京 子
助 手 麓 耕 平
文部事務官 中 川 明 夫

◆ 原 著

1) Niwayama S., Shibata M., Iwase I., Ochiai H., Motoda S., Sato S. and Hayashi K.: Antigenic Analysis of Influenza A Viruses Isolated In Niigata Prefecture, Japan, 1962-1979 28: 17-29, Acta Medica et Biologica.

2) 佐藤征也, 元田昭策, 落合 宏, 庭山清八郎, 岩瀬勇雄: 単純拡散法を応用した補体結合試験: Single radial complement-fixation (SRC) test について, 臨床とウイルス 8: 71-74, 1980.

3) 元田昭策, 佐藤征也, 落合 宏, 庭山清八郎, 吉村隆二, 折笠道昭, 岩瀬勇雄: 固定ニワトリ赤血球による風疹ウイルスの赤血球凝集 (HA) ならびに同抑制 (HI) 試験に関する研究, 臨床とウイルス 8: 83-85, 1980.

4) 芝田充男, 根津ヒロ子, 阿部昭也, 齊藤由紀, 庭山清八郎: 昭和52年から54年に新潟県内で発生した恙虫病患者の血清学的検査成績, 新潟医学会雑誌 94: 353-359, 1980.

5) 芝田充男, 阿部昭也, 篠川 至, 根路銘国昭,

中山幹男, 石田正年, 大谷 明, 庭山清八郎, 落合 宏, 岩瀬勇雄: 白鳥から分離した合の子インフルエンザウイルス, 日本医事新報 2946: 43-45, 1980.

◆ 学会報告

1) 落合 宏, 庭山清八郎: パラインフルエンザウイルスの抗体調査, 第2回北陸ウイルス病研究会, 1980. 7, 金沢.

2) 芝田充男, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 佐藤征也, 元田昭策, 庭山清八郎: 1980年分離の A(H₁N₁) 型, A(H₃N₂) 型およびB型インフルエンザウイルスの抗原分析, 第28回日本ウイルス学会総会, 1980. 10, 久留米.

3) 芝田充男, 篠川 至, 根路銘国昭, 中山幹男, 石田正年, 大谷 明, 落合 宏, 庭山清八郎, 岩瀬勇雄: カモおよび白鳥からのインフルエンザウイルスの分離, 第28回日本ウイルス学会総会, 1980. 10, 久留米.

4) 元田昭策, 佐藤征也, 落合 宏, 庭山清八郎, 折笠道昭, 中島 実, 岩瀬勇雄: 保存感作ヒツジ赤血球による補体結合 (CF) 反応について, 第28回日本ウイルス学会総会, 1980. 10, 久留米.

5) 佐藤征也, 元田昭策, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 庭山清八郎: 補体フィルム膜を用いた一元放射補体結合反応 (SRC-fix 法) に関する研究, 1. インフルエンザウイルス抗体の測定, 第28回日本ウイルス学会総会, 1980. 10, 久留米.

6) 芝田充男, 阿部昭也, 根津ヒロ子, 庭山清八郎: L細胞増殖恙虫病リケッチアによる血清診断, 第17回日本細菌学会中部支部総会, 1980. 11, 名古屋.

7) 芝田充男, 岡尾勇一, 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子, 岩瀬勇雄, 佐藤征也, 元田昭策: インフルエンザウイルスのNA抗原分析, 第17回日本細菌学会中部支部総会, 1980. 11, 名古屋.

8) 佐藤征也, 元田昭策, 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子, 岩瀬勇雄, 芝田充男: 酵素抗体法によるインフルエンザウイルスの抗原検出について, 第17回日本細菌学会中部支部総会, 1980. 11, 名古屋.

9) 落合 宏, 林 京子, 佐藤征也, 元田昭策, 庭山清八郎, 岩瀬勇雄: インフルエンザウイルス H₃N₂ 型愛知株の精製 HAとNAの性状について, 第17回日本細菌学会中部支部総会, 1980. 11, 名古屋.

10) 元田昭策, 佐藤征也, 中島 実, 岩瀬勇雄, 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子, 芝田充男: 赤色を有する固定赤血球による各種ウイルスのHAならびにHI試験に関する研究, 第17回日本細菌学会中

部支部総会, 1980. 11, 名古屋.

11) 庭山清八郎, 林 京子, 落合 宏, 元田昭策, 佐藤征也, 岩瀬勇雄, 芝田充男: 組織培養における血清代用としての生卵卵白の使用について, 第17回日本細菌学会中部支部総会, 1980. 11, 名古屋.

薬 理 学

教 授 中 西 穎 央
助 教 授 武 田 龍 司
助 手 百 瀬 弥寿徳
助 手 山 崎 弘 美
文部技官 西 口 慶 子

◆ 原 著

1) Yamazaki H., Shiohara E., Tsukada M., Nishiguchi K., Risyaf S. and Nakanishi S.: Effect of 3-methylcholanthrene in vivo treatment on the activity of liver aldehyde dehydrogenase in Long-Evans rats. Jpn. J. Stud. Alcohol **15**: 37-42, 1980.

2) Takeda R. and Momose Y.: Effects of acetaldehyde on the membrane resistance in the smooth muscle of the guinea-pig taenia caecum. Arch. int. Pharmacodyn. **244**: 188-199, 1980.

3) Takeda R. and Momose Y.: Effects of acetaldehyde on the membrane potential and membrane resistance of the identified neurons in the abdominal ganglion of *Aplysia kurodai*. Jpn. J. Pharmacol. **30**: 165-172, 1980.

4) Shiohara E., Nishiguchi K., Tsukada M., Yamazaki H. and Nakanishi S.: Acetaldehyde oxidation by isolated rat liver mitochondria: Effects of trichloroethylene and chloral hydrate. Jpn. J. Stud. Alcohol **15**: 150-156, 1980.

5) Shiohara E., Tsukada M., Yamazaki H., Nishiguchi K., Risyaf S. and Nakanishi S.: Effects of phenobarbital, 3-methylcholanthrene and allylisopropylacetamide in vivo treatments on the activity of aldehyde dehydrogenases in the submitochondrial fractions of rat liver. Jpn. J. Stud. Alcohol **15**: 317-324, 1980.

6) Takeda R. and Momose Y.: Effects of acetaldehyde on the cholinergic synaptic transmissions in *Aplysia* neurons. Jpn. J. Stud. Alcohol

15: 109-116, 1980.

7) Momose Y. and Takeda R.: A comparison of inhibitory actions of ethanol and acetaldehyde on the acetylcholine responses in *Aplysia* neurons. Jpn. J. Stud. Alcohol **15**: 205-213, 1980.

8) Nakanishi S., Yamazaki H., Nishiguchi K. and Risyaf S.: Effect of pargyline and diethyldithiocarbamate in vivo treatment on aldehyde dehydrogenase activities of submitochondrial fractions. Arch. Toxicol. (Berl.) **46**: 241-248, 1980.

9) Nakanishi S., Shiohara E., Tsukada M., Kawahara I., Matsumura R., Nagakura A. and Kohei H.: Effects of Fominoben-HCl on rat liver. Arzneimittel-Forsch. **30**: 1884-1887, 1980.

◆ その 他

1) 中西穎央: アルコール代謝ならびにアルコール嗜好性の遺伝支配, 日本医事新報 No2913, 126-127, 1980.

2) 中西穎央: アルコールの薬理—神経伝達とアルコール—, 治療学 **4**: 579-584, 1980.

3) 中西穎央: アルコールの薬理—アルコール嗜好性の遺伝支配: その生化学的ならびに薬理学的背景, 臨床と研究 **57**: 2425-2430, 1980.

◆ 学会報告

1) 山崎弘美, 西口慶子, 中西穎央: ラット肝ミトコンドリア外膜およびマトリックスのアルデヒド脱水素酵素活性に及ぼす pargyline および diethyldithiocarbamate の影響, 第53回日本薬理学会総会, 1980. 3, 岐阜.

2) 百瀬弥寿徳, 武田龍司: モルモット摘出精管に対するアセトアルデヒドの作用, 第53回日本薬理学会総会, 1980. 3, 岐阜.

3) 山崎弘美, 中西穎央, 荻田善一: アルデヒド脱水素酵素のアガロースゲル薄層電気泳動法的解析, 第30回電気泳動学会, 1980. 6, 東京.

4) 山崎弘美, 西口慶子, 中西穎央: マウス肝アルデヒド脱水素酵素の電気泳動法による解析, 第31回日本薬理学会北部会, 1980. 8, 旭川.

5) 西口慶子, 山崎弘美, 中西穎央: ラット脳アルデヒド脱水素酵素についての研究, 第15回日本アルコール医学会総会, 1980. 10, 京都.

6) 百瀬弥寿徳, 武田龍司: 摘出精管における交感神経伝達に対するエタノールとアセトアルデヒドの影響, 第15回日本アルコール医学会総会, 1980. 10, 京都.